新庁舎建設特別委員会の概要（第１５回）

１　日　時　　第１５回　令和６年９月１８日（水）
　　９時～１０時１０分

２　場　所　　第１議会委員会室

３　出　席　　全委員

４　内　容　　１　請願事項に関する協議
　　２　その他

◆配布資料
・執行部への質問事項
・今後の予定について

　執行部より議会から提出した請願書に関する質問事項に対して、資料に沿って詳細な説明を受けた。

１　請願事項に関する協議
【主な説明内容】
〈今後の予定について〉
〇令和 6 年度スケジュール案
　・複数候補地各種可能性調査：10 月に調査 11 月にまとめを行う。
　・サウンディング調査：現在結果をまとめている。
　・特定団体対象ワークショップ：現在結果をまとめている。
　・おでかけワークショップ：継続中
　・各種可能性調査：現在行っており、11 月中に結果をまとめる。
〇4,000 人市民アンケートの場合
　①12 月にタウンミーティング（生涯学習センター）：1～2 月に 4,000 人アンケート又は市議会と相談をして、3 月末までに 1 つの整備地を決定。
　②12～1 月にタウンミーティング（各地で開催）：3 月に 4,000 人アンケート又は市議会と相談をして、4～6 月に 1 つの整備地を決定。
〇49,000 人市民アンケートの場合
　①12～1 月にタウンミーティング（各地で開催）：3 月に 49,000 人アンケートの準

備、アンケート集計結果は 6 月頃 7～9 月に 1 つの整備地決定。

〈議会から提出した請願に関する質問に対する執行部の回答〉
１　候補地の追加によりスケジュールはどうなるのか。
　　現在ＳＴＥＰ７まで来ているが、後戻りがあるのか、
　　ＳＴＥＰ８からの作業はどれくらい遅れるのか。
→候補地の追加により､スケジュールは予定よりも9か月程度延長すると考えている。STEP7「複数候補地の調査の追加実施、サウンディング調査の追加実施も必要となる」
２　候補地の追加により、予算（費用）はどれくらい増えるのか。
　　またその場合、新たな業務が想定されるが、対応は可能なのか。
→候補地が追加になった場合、追加で必要となる概算費用は。5,463 千円程度と見込んでいる。
３　民間による駅南再開発事業が進んでいるが、新庁舎建設にあたり、一体的な事業と捉えているのか、あるいは、別々の事業として考えているのか。
→別々の事業であると考えている。
４　大手町公園の利活用について、岐阜県の見解は。
→大天地公園は、都市計画決定に基づいて美濃太田駅北土地区画整理事業で造成した公園であり、現在は美濃加茂市が都市公園法に基づき管理している。大手町公園が新庁舎整備地になった場合、当計画決定の変更を行うとともに、代替え公園の条件や場所について市の考え方を整理して、代替え公園の確保に努めたい。この方向性について国、県の担当者から問題ないとの回答をもらっている。
５　前平町の旧畜産研究所用地が県から返還されるのはいつ頃か。
　　また、返還の際、建物解体費用や整地費用についての市の持ち出しがあるのか。
→令和 6 年度現在関市の畜産研究所の拡張工事を行っている。不測の事態によって、令和 7 年度に繰り越すこともあり得る。その後、解体設計、解体工事、土壌調査をすると聞いている。返還の時期は、土壌調査の結果によって変わってくる。
６　旧畜産研究所の県有地に、廃棄処分された豚が埋設されているが、その場所は今後どうなるのか。
→今年の 4 月に県の担当者に確認したところ「埋設してから 3 年以上経過しているので法的には撤去しても問題はない。また、そのままでも問題はない」とのことであった。処分に高額な費用がかかる可能性もあり、畜産研究所周辺を整備地として考える際、どのようにトラ使うか慎重に考える必要がある。
７　ロードマップの修正が必要となったとき、変更は可能か。
→新庁舎ロードマップ9ページに記載してある通り､進捗状況により変更はありえる。
８　大手町公園の半径５００ｍ以内を候補地と考えたときに､駅南周辺（市商業ビル）も含まれると考えられるが、旧案の駅南周辺で使用したデータを、当時からの物価高騰分を加味したうえで使用することは可能か。
→旧基本計画案の駅南周辺（市商業ビル）も園内という認識。駐車場などの本庁舎を補完する施設を検討するにあたり、旧基本計画案作成時の情報は有効に活用していく

が、今回は本庁舎の面積＋分庁舎の面積で新庁舎を考えているなど旧基本計画案と考え方に違いがあるため、可能性調査を行う必要があると考えている。
９　現在の候補地を大きく分類して、「前平周辺」、「駅周辺」、「現庁舎周辺（プラザ中体を含む）」の３候補地に絞り込むことは可能か。
→現在の候補地を大きく分類して絞り込むことは、市民ワークショップや4,000人アンケートで市民に情報提供してきた内容と異なるため、基本的には考えていない。3候補地に絞り込んだとしても、可能性調査のやり直しや、市民への周知等に相当の期間と費用が必要となることから、市民との具異形成が図られるとは思えない。
【委員会で出た主な意見】
〈委員〉候補地の追加による可能性調査から始めれば6ヶ月で済むのでは。
→可能性調査を出す費用を今年度は持っていない。12月議会にかけ、発注ができるのが1月の末頃になると思う。
〈委員〉総合政策会議決定後の上程までが2ヶ月間あるが、それだけの時間は必要なのか。
→条例は、議会が始まる1ヶ月半から2ヶ月前から動き始めている。法令係の方でその条文等が間違いがないかチェックをし、1ヶ月前にもやる。期間的にはしっかりとそれだけかかってくる。
〈委員〉大手町公園周辺には、市商業ビルも含まれており、駅南再開発と合わせて考える必要があるのでは。
→大手町公園に建てる、市商業ビルに建てるということになった場合、市街地の再開発事業との連携はするべきであると考えている。
〈委員〉大手町公園の計画については。
→都市計画決定という中で行われ、その権限は市にある。代替え公園はこういう考え方でここに確保するということがしっかりしていればよい、国と県の見解である。
〈委員〉立地適正化計画を踏まえて計画は作るべきではないか。
→変更する部分は変更して進めていく必要があると考えている。
〈委員〉畜産研究所について、返還時期など確定していないが、決定できるのか。
→可能性調査で確認するべきところは確認をし、確定できないところに関しては、予定といった言葉で調査の内容を固めるしかない部分もある。できる限りの調査をした結果をまとめる。

【まとめ】
議会から出した質問事項に対して、執行部より説明を受けた。
委員会としての決定事項はなし。